

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成1年12月18日 第38報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	200		◎
(黄鞭) <i>Chrysaomoeba radians</i>	240	○	
(珪) <i>Melosira granulata</i>	120		
(珪) <i>Melosira distans</i>	160		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	200		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	80		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	120		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	240	○	
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	40		○
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	280	◎	
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	60		
(緑) <i>Scenedesmus quadricauda</i>	80		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	440	22.2	40.3
(珪) 珪藻綱	980	49.5	41.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	2.0	3.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	380	19.2	13.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	140	7.1	1.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1980	総体積 (μm^3)	1.59E+06
種類数	15		

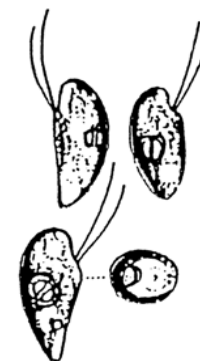
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Rhodomonas</i> sp.	280

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	240

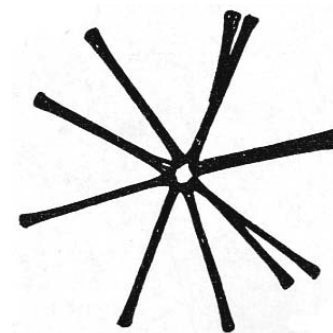
植物プランクトン第1優占種



***Rhodomonas* sp.**
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約 $10\mu\text{m}$ と小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

植物プランクトン第2優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。